

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	雇用安定事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	5	1	1	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	ハローワーク求人情報のオンライン提供の活用などによる相談体制の充実により、雇用の安定化を図る。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容 □	ハローワーク求人情報のオンライン提供を活用した、「わーくプラザ鎌ヶ谷」を、チラシの配布や広報等で周知して、相談業務の充実、雇用の安定化を図る。
②①に基づく取り組み結果	無料職業紹介所の相談業務と共に、各世代による各種就職支援セミナーの実施、及び若者を対象に就職相談を毎月開催した。また、市広報等により退職金共済制度の周知及び補助金の支出を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民及び事業者	意図(対象をどうするのか)	雇用の安定化を図る。
②事務事業の概要	中小企業退職金共済掛金補助金や無料職業紹介事業及び就職支援セミナー等により雇用の安定化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	中小企業においては、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想される。また高齢化社会の更なる進展や、再就職を考えている中高年世代や子育て中の女性から就労に対する支援について要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	無料職業紹介所の相談業務と共に、各世代による各種就職支援セミナーの実施、及び若者を対象に就職相談を毎月開催した。また、市広報等により退職金共済制度の周知及び補助金の支出を図った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i	退職金共済加入者数	95	131	152	人 業務取得
	ii	わーくプラザ鎌ヶ谷来所者数	4020	3673	3241	人 業務取得
iii	就職支援等セミナー参加者数	97	49	135	人 業務取得	
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	3,595	3,688	金額(千円)	内容	3,830	
	国支出金(千円)		2,303	非常勤職員賃金		
	県支出金(千円)		1,171	中退共補助金		
	市債その他(千円)					
	一般財源(千円)	3,595	3,688		3,830	

IV 評価・検討

①課題	職業紹介事業に係る相談体制を充実させていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市内の中小企業で働く従業員の福祉の向上及び市民の雇用の安定化を引き続き図っていくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		H27からの繰越
		H27⇒28繰越		
③達成状況		0	補正	0
④未完了・非着手の理由		流用・充当		現年分
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	中小企業資金等に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	7	1	2	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	中小企業者への更なる周知を図る。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	中小企業が融資制度を利用しやすい様に、利率の引き下げを行う。また、市広報やホームページ等を活用し、中小企業に融資制度の周知を図る。
②①に基づく取組み結果	市広報やホームページにより制度の周知を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の中小企業事業者	意図(対象をどうするのか)	資金融資を通じ、中小企業の経営の安定及び振興を図る。
②事務事業の概要	中小企業に対する資金融資や融資の利子に対する利子補給を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	中小企業においては引き続き厳しい経営環境が続くものと予想される。また、商工業の経営安定や振興についても要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	中小企業の経営の安定及び振興について、資金面から寄与することができた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i	資金融資額	19	24	9	千万 業務取得
	ii	利子補給金	1094	1135	1030	万 業務取得
iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	102,172	100,478	金額(千円)	内容	102,309	
	国支出金(千円)		10,298	利子補給金		
	県支出金(千円)		90,000	融資預託金		
	市債その他(千円)					
	一般財源(千円)	102,172	100,478		102,309	

IV 評価・検討

①課題	取扱金融機関の一部において融資枠が十分に活用されてない状況となっている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	資金融資等により中小企業の事業活動の促進及び経営の安定化を図るため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	企業誘致基本計画推進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	7	1	2	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	進出企業に対する優遇措置等を定めた支援制度の検討	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	企業誘致促進条例及び施行規則を制定する。
②①に基づく取り組み結果	鎌ヶ谷市企業誘致支援制度検討委員会を経て策定された「鎌ヶ谷市企業誘致に係る支援制度」に基づき、条例及び施行規則の骨子(案)を作成した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内外の企業及び市民	意図(対象をどうするのか)	市内への企業立地の促進及び市民の雇用の場の創出
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市企業誘致基本計画に基づき、企業誘致に係る各種取り組みを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後も地域経済の活性化、雇用機会の創出、税収の増加等に繋がる新たな企業の立地が求められる。また、「立地を活かした新産業の誘導」は、市民意識調査によると不満足となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	鎌ヶ谷市企業誘致支援制度検討委員会を経て策定された「鎌ヶ谷市企業誘致に係る支援制度」を策定した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	パンフレット作成部数	—	—	—	万部	業務取得
	ii	ホームページへのアクセス件数	9,296	8,683	6,710	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	0	41	金額(千円) 内容		0		
国支出金(千円)			41 企業誘致支援制度検討委員会委員報償				
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	0	41			0		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	企業の市内への進出意欲を高めるため、支援制度の創設や活用可能な用地を確保する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	地域経済の活性化、雇用機会の創出、税収の増加等に繋がる企業誘致政策を加速していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	企業誘致支援制度検討委員会委員報償	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	報償費を支出した。	109	109	当初	109	41	H27からの繰越
				H27⇒28繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)					